

道路アセットマネジメントプラットフォーム 長期研修 「留学生セミナー」で講義をしました

独立行政法人国際協力機構（JICA）では、道路アセットマネジメント（道路行政、道路運営管理等）分野において、日本の大学と連携し各国から留学生の受入を行っています。

今回、北海道大学で当該留学生を対象とした夏期セミナーを開催するにあたり、北海道開発局はJICA から「北海道開発の歴史と北海道総合開発計画」の講義依頼を受け、当該留学生に対して講義を行いました。

- 研修内容：2024 年度 JICA 道路アセットマネジメント研修 留学生セミナー
- 研修期間：2024年（令和6年）9月3日
- 参 加 者：日本各地の大学に在籍する長期留学生（研修生）
ネパール5名、インドネシア2名、ラオス3名、カンボジア3名、
フィリピン3名、ザンビア3名、ガーナ3名、パキスタン1名、エチオピア2名、
モンゴル2名、ケニア2名、キルギス1名、エジプト1名、マダガスカル1名
14 カ国 計32名

■ 研修概要

講義の様子

当局は大味国際室長が「北海道開発の歴史と北海道総合開発計画」について講義を行いました。研修生からは「生産空間を維持するためにどのような法律があるのか」、「農家を守るためにどのような施策を行っているか」等、講義時間を超えても国の具体的施策に関する質問が出ていました。

講義後には学内視察として、北海道大学総合博物館や札幌農学校第2農場（北海道の風土に合った酪農業を進めるためのモデル施設として、明治時代に建設された模範農場）等を見学予定となっていたため、当局の講義が理解を深める一助となれば幸いです。



講義の様子



質疑応答の様子